



各 位

平成27年10月30日

上場会社名 三井化学株式会社
 代表者 代表取締役社長 淡輪 敏
 (コード番号 4183)
 問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 小澤 敏
 (TEL 03-6253-2100)

**第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正、
 剰余金の配当及び期末配当予想の修正、
 並びに韓国SKCとのポリウレタン事業統合に伴う
 持分法による投資利益と特別利益の計上に関するお知らせ**

平成27年7月22日に公表いたしました平成28年3月期第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記1のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想、中間及び期末配当予想を、下記2と3のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

併せて、韓国SKCとのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益を計上いたしましたので、下記4のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想と実績値との差異

(1) 平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績の差異

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	730,000	33,000	31,000	18,000	17.99
今回実績(B)	708,647	41,412	41,194	28,461	28.44
増減額(B-A)	△ 21,353	8,412	10,194	10,461	
増減率(%)	△2.9%	25.5%	32.9%	58.1%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	775,959	18,579	19,428	7,364	7.36

(2) 差異の生じた理由

営業利益は、主に石化セグメント、機能樹脂セグメント及び基礎化学品セグメントにおいて交易条件が改善したことなどにより、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加に加え下記4に記載のとおり、持分法による投資利益と特別利益を計上したことなどにより、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,440,000	65,000	58,000	32,000	31.97
今回修正予想(B)	1,355,000	70,000	60,000	35,000	34.97
増減額(B-A)	△ 85,000	5,000	2,000	3,000	
増減率(%)	△5.9%	7.7%	3.4%	9.4%	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	1,550,076	42,040	44,411	17,261	17.24

(2) 修正の理由

第2四半期累計期間の実績値を踏まえ、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上表のとおり前回発表予想数値を上回る見込みです。

3. 剰余金の配当及び期末配当予想の修正

当社は、平成27年10月30日開催の取締役会において、下記のとおり平成27年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想について決議しましたので、お知らせいたします。

(1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年5月12日公表)	前期実績 (平成27年3月期中間配当)
基準日	平成27年9月30日	同左	平成26年9月30日
1株当たり配当金	4円00銭	3円00銭	2円00銭
配当金の総額	4,003百万円	—	2,002百万円
効力発生日	平成27年12月2日	—	平成26年12月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	年間配当額			
	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	3.00	—	3.00	6.00
今回修正予想	—	—	4.00	8.00
当期実績	4.00	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	2.00	—	3.00	5.00

(3) 理由

平成28年3月期の中間配当につきましては、3円配当予想としておりましたが、第2四半期累計期間の業績が当初予想を上回ったため、当社グループの経営状況を勘案し、1株あたり4円の配当といたします。

平成28年3月期の期末配当予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、1株あたり1円増加の4円といたします。これにより、1株あたりの年間配当予想は、2円増加の8円となります。

4. 韓国SKCとのポリウレタン事業統合に伴う持分法による投資利益と特別利益の計上

平成27年7月1日に実施しました韓国SKCとのポリウレタン事業統合により、持分法による投資利益及び特別利益を計上しました。

(1) 持分法による投資利益の計上について

韓国SKCとの韓国合弁会社へ出資した際の負ののれん発生益を、持分法による投資利益として32億円計上しました。

(2) 特別利益の計上について

ポリウレタン材料事業を韓国SKCとの日本合弁会社へ分割した際の事業譲渡益として、特別利益に37億円計上しました。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上